

医心 伝心

富山大学医師会について

県医理事 長田 拓哉

富山県医師会及び富山市医師会と協議しておりましたが、このたび富山市医師会内に富山大学医師会を設立させていただくことになりました。これまでは富山市医師会の大学班として医師会に参加してきましたが、今後は大学医師会として活動を進めていくこととなります。富山県医師会員の先生方に、大学病院との病病連携、病診連携をよりスムーズに行っていただけるよう、大学医師会として積極的に活動していきたいと考えています。

全国81の医科大学・医学部中、61の大学にはすでに医師会が存在し、10校あまりの大学では、今後の設立に向けた準備が進められているようです。北陸4大学医学部の中では、福井大学と富山大学に大学医師会ができたこととなります。各大学医師会では、学術・教育を中心に様々な活動が行なわれています。例えば、優れた業績に対する大学医師会賞の授与や、講演会、研修医を対象とした医療安全に関する講習会、さらには留学助成や生活助成を行っている医師会もあるようです。富山大学医師会でも、会員数を増やして団結することで、大学で働く医師の労働環境を改善し、モチベーションを上げる取り組みを進めていきたいと思っています。

富山大学医師会の設立に当たりまして、富山市医師会、富山県医師会から多大なご協力をいただいております。第一に、卒後2年目までの初期臨床研修医を対象に新しくB3会員枠を創っていた

だき、富山県、富山市いずれの医師会会費も無料にさせていただきました。これを受けて、平成26年度に富山大学で研修を開始した22名の初期臨床研修医全員に、富山県・富山市医師会に入会していただくことができました。さらに卒後8年目までの若手医師はB2b会員として、年会費を2万円（県¥12,000、市¥8,000）まで値下げしていただきました。これらは全国に先駆けた画期的な試みです。今後、富山県・富山市医師会で活躍する若手医師が多く育ってくれるよう、医師会への勧誘に励みたいと考えています。

今、なぜ大学医師会なのか。そして大学医師会のメリットは何か。大学で勤務する医師にとっては、年会費に見合うだけの目に見えるメリットは少ない様にも感じられます。しかし実際に県医師会の活動をお手伝いさせていただくことにより、富山県の医療に対して医師会が果たす役割の重要性と大変さを実感しました。そこに富山大学医師会の存在意義があると考えています。富山大学医師会会員として、会の充実と発展のために活動するとともに、富山県民の健康を守り、また県内で働く医師がやりがいを持って働ける環境を整えるために、更に何ができるのかを考え、行動していきたいと思っています。